

説 教

オープン・チャーチ礼拝 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2020年1月26日（日）

主 題：「あなたの人生 いかがですか」

—大丈夫ですか—

テキスト：箴言3章1～7節

**はじめに**

- ・今日は「オープン・チャーチ礼拝」です。教会に初めてお越しになられた方々、またいつもお越しくださっている方々、心から歓迎いたします。ご一緒に、神様に礼拝をお捧げできます幸いに感謝します。
- ・ところで、今日は私たちの人生について考えてみたいと思います。先日、新聞の「人生相談」コーナーに次のような記事が載っていました。
- ・60代後半の主婦。もう人生後半を迎えているのですが、自分がいまだに何もわかっていないことに、今更気づいてショックを受けています。
- ・これまで私は長いこと生きてきたと思っています。それなのに、大好きな花のことも、歴史のことも、政治経済や世界のことも、何もかも、漠然としか知りません。
- ・そして知らないということに気づいた後から、学びたい、知りたいという欲求が、日ごとに増してきています。私はどうやって学んでいいのか、わかりません。幅広い、いろんな事柄について、もっと深く知る人間になりたいのです。
- ・そうはいっても、なかなか勉強をする手だてがありません。学びたいと思っても、今はどうしたらいいのか、迷ってばかりいます。どのようにしたら世の中のことをもっとわかるのでしょうか。いろんなことを知っていくために、何をしていけばいいのか、どうぞ教えてください。（兵庫・H子）

読売新聞大阪版 19年8月24日

- ・この質問は兵庫県に住む60代後半の女性からです。年齢的に見るならば、もう十分、人生から学んだ年齢と思われれます。しかし、この方は、自分がいまだに、何もわかっていないことにショックを受けたと言いました。
- ・今の時代、多数の方々が生き方が分からなく、困っておられます。日本社会は70年以上も戦争はありませんでした。日本は戦後、繁栄し豊かな時代となりました。欲しいものはお金と時間があれば、手に入れられる時代となりました。しかし、何をすればよいか分からない方はいます。  
では、どうすれば良いのでしょうか。
- ・聖書は人の生きる道を明確に説いています。箴言  
3:5 心を尽くして【主】(神)に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。  
3:6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。
- ・今日はこのテキストから、2点を覚えたいと思います。

## 大切なポイント

### 1. 心を尽くして、主（神）により頼め

- ・ 3:5 心を尽くして【主】（神）に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

#### 1) 人間は被造物である

- ・ まず覚えないことは、人間は神によって造られた存在であることです。どんな物にも、作った人がいます。たとえば、目前にある物（この会堂でいえば、机、椅子、ピアノ、講壇など）は、当然ながら作り主（製作者）がいます。これらの物が偶然できたと考える人は、誰一人いません。同じように、聖書は神が世界を造られたと述べています。
- ・ すべての動物、植物、生き物、そして人間も神が創造されました。しかし、私たちはこの創造神について聞かされていませんでした。教えられてもいません。学校でも、家庭でも神が世界を造り、そして人間も造られたと教えてくれませんでした。
- ・ そこで、多数の人々は、生物（人間も含む）は進化して現在に至っていると考えています（進化論）。もともとは、小さな単細胞からスタートしたと考えます。あるいは人間は、猿が進化して人間となったという人もいます。
- ・ しかし、本当にそうでしょうか？ ある方は、突然ビックバーンによって地球はできたとも言います。学者たちは、それを証明しようと努めています。しかし今まだ、進化論は決定的証明に至っておりません。人は、どこから来て、どこへ行くのか、という基本的なことさえまだ不明なのです。
- ・ ところが、聖書は人間の創造、世界の創造、あらゆる生物の創造について明白に語っています。そしてなによりも、人間はなんのために生まれ、何のために生きるかという、大切なテーマについて語っています。
- ・ 聖書の第1ページには次のように書かれています。 **創世記**
- 1:1 **はじめに神が天と地を創造された。**
- ・ 同志社大学の創始者である新島襄氏は、聖書のこの第1ページの文章を読んだ時、「**これだ!**」と叫び声を上げたそうです。新島襄先生は、「**私が求めていたのは、天と地を創造された神である。**」と言いました。
- ・ 皆さん。聖書を読めば、世界が読めるようになります。人間はどんな存在であるか、なんのために働いているかです。さらに、どこへ向かっているかが分かります。その意味で、聖書は恐るべき書物と言えます。
- ・ 第16代米国大統領であったアブラハム・リンカー氏は、次のように言いました。「**聖書は神が人類に与えた最も尊い贈り物である**」  
聖書を知ることは、私たちの人生の価値を知ることです。  
では、この聖書は何を教えているのでしょうか。

#### 2) 創造神により頼みなさい

- ・ 造られた人間が、造り主である創造神を覚えることは、極めて自然なことではないでしょうか。子どもが親を覚えることは、自然なことです。しかし、私たちはそれが分から

ないのです。

- それでは、人間は創造主なしで生きられるかと言えば、決してそうではありません。世界どこに行っても、人間の手によって造られた神々（宗教）はあります。南米に行けば、現地の宗教があります。アフリカに行けば、同じく現地の神々が作られ、そして祀られています。日本を見れば、八百万の神々が祀られています。
- 私たちの周りには、じつに多くの宗教があります。いったい、何が正しい教えでしょうか。一生かかっても、世界のすべて宗教を訪ねることは不可能です。いったい、だれが真実を語っているのでしょうか。

#### {例 話}

- 大阪には「今宮戎神社」があり、1月10日には通称「えべっさん」と呼ばれる祭りがあります。毎年、なんと100万人の人出で大混雑するそうです。

えびす神は、商売繁盛・<sup>じょさいしょうふく</sup>除災招福・<sup>たいりょうほうさく</sup>大漁豊作の神さま、と呼ばれています。

- 先日、私は家の近くの薬局へ薬を買いに行きました。すると、店の真正面の少し高い所に、その「えべっさん」で買い求めたと思われる「<sup>ふくさき</sup>福笹」がありました。そして「福笹」には“商売繁盛”と書いてありました。
- 皆さん。少し考えてください。薬局が商売繁盛するとは、病気の人が増えて、薬を買い求める人数が増えますように！ということですね。つまり、病人が増えることは、薬の売り上げをアップさせることになるのです。
- 何か矛盾していると思いませんか？ しかし、それが日本の神々です。自分の利益を求めることが第一優先します。それは人間の側から生まれた宗教であるからです。
- ところで、宗教心は大昔からありました。約2千年前、場所はギリシャのアクロポリスの神殿の丘です。そこには、多くの哲学者、社会学者、倫理学者が集まっていました。そしてギリシャ神話を信じる人々も集まっていました。その姿を見たパウロという名前の伝道者は、こう言いました。

#### 使徒の働き 17章

17:21 アテネ人も、そこに滞在する他国人もみな、何か新しいことを話したり聞いたりすることだけで、日を過ごしていた。

17:22 パウロは、アレオパゴスの中央に立って言った。「アテネの人たち。あなたがたは、あらゆる点で宗教心にあつい方々だと、私は見ております。

17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです

- 人間という者は、いつの時代もあまり変わりはないようですね。  
『知られていない神に』と刻まれた祭壇」がありました。もしかして、私が拝んでいる神以外に他の神が存在するかもしれない、と考えました（信心深い）。聖書はこう語っています。

#### • 伝道者の書

3:11 神はまた、人の心に永遠を与えられた。

この聖書箇所を別の翻訳で開くと「神はまた、人の心に永遠への思いを与え

られた。」とあります。永遠とは、神を指します。永遠に続くのは神お一人であるからです。人間には永遠（神）を求める思いが与えられています。

- 真の神を知らなければ、人は心の渇きがあります。そこで人間は神々（宗教）を、自分たちの都合に合わせて作り出しています。そして神に近づこうと修行をし、訓練をし、勉強をし、努力し、願をかけて、お布施（お金）し、自分の願いが成就するように求めています。願いを聞きいれてくれる所へ、何とかして近づこうとします。しかし聖書は、人間を造られた神が語っている書物です。

- 私たちが人生で悩む最大の理由、それは創造神（造り主）が分からないからです。天と地とその中の全てを造られた神を知らないからです。聖書は次のように教えています。

**3:5 心を尽くして【主】（創造神）に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。**

では、私たちはどう生きればよいのでしょうか。

## 2. どこでも主（神）を認めなさい

3:6b 主があなたの進む道をまっすぐにされる。

### 1) 主（神）とともに歩む人生

3:17 ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。コロサイ

⇒ これが主とともに歩む人生です

- 「ことばであれ行いであれ、何かをするとき」とは、神はいつもおられるということです。聖書はこう語っています。

17:28 『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。使徒の働き

### 2) 主（神）は道をまっすぐにされる

- まっすぐな道とはどんな道でしょうか。

#### ① 正義の道

- それは正しい道のことです。私たちの心には、良心があります（子どもにも）。誤った事をすれば、良心は痛むものです。そして苦しみます。苦しむことがない人がいれば、それは良心が麻痺しているからではないのでしょうか。

#### ② まっすぐな道は、効率性の高い道（遠回りではない）

- 「ワンダーフォーゲル」（独語：Wandervogel）というクラブがあります。ワンダーとは、自由（気楽）に歩くことです。フォーゲルとは鳥という意味です。正しく、空の鳥のように自由に飛び進むことを意味します。
- 私はドイツで生活したことがあります。独身で、まだ青年時代でした。ドイツには多くの森、林があります。教会の青年会の人たちと週末に、森や林の中をよく「ワンダーフォーゲル」をしました。お弁当と飲料水をリュックサックに入れて、15～20kmは歩きました。それは本当に楽しいひと時でした。とくに新緑の春に歩くと、爽快な気分であったことを覚えています。
- ところが、そこで大切なことがあります。それは必ず地図を携行することです。

地図がなければ目的地に、どう進めばよいか分かりません。ワンダーフォーゲルですから、自由に歩いてよいのですが、道を間違えば遠回りすることになります。

- それは、正しい地図に従って歩かないからです。皆さん、聖書はある意味で、私たちの道を示す地図のようです。人生で遠回りをしない、効率性の高い歩き方を示すコンパスのようです。私は14歳の時に、創造神を知り、神を信じました。それ以来現在に至るまで、聖書は私の人生のコンパスのように、いつも前を示してくれた指針のようでした。それは神が先導してくださった道でした。本当に幸いでした。

### ③ 安全な道

- 神は私たちを安全な道へ導かれます。私は長い間、ヨーロッパで旧ソ連（ロシア）・東欧での伝道をしていました、ある時、極寒シベリヤの収容所から無事に出てきた牧師から、私は次のような実話を聞きました。
- シベリアに収容所では食物が不足し、脱走する囚人たちは後を断つことはありませんでした。囚人は無料の労働力でした。ある時、収容所の所長は一つの規則を発表しました。
- それは、もし脱走囚人が出れば、その者は厳しい処罰（死刑）を受けるというものでした。少しの間は、逃げる囚人はいませんでしたが、時が経つとやはり脱走囚人が現れました。
- すると収容所所長は、「今からクジを引く、そのクジが当たった者が、脱走囚人の代わりに処罰を受けることになる。」と言いました。クジが引かれたところ、17歳の少年に当たりました。
- 彼は前に呼び出され、両手を縛られ、目隠しをされました。そして少し距離を置いた所に立たされました。看守が銃を構えて、所長の号令を待っていました。非常に緊張した状態でした。時刻はすでに夕方に近づいていました。
- すると、一人の老人が大声で叫びました。「待ってください！待ってください！あなた方が本当に少年を銃殺するならば、この私を撃ってください。彼はまだ若いのです。」すると所長は老人の言葉を受け入れ、彼の両手を縛り、目隠しし前に立たせました。そして所長は、銃の引き金を引く号令を出しました。
- 老人はその場で、バタッと倒れました。一番はじめに、かけつけたのは、勿論あの少年でした。少年は倒れた老人の体を抱きかかえ起こしました。すると、彼は大声で「お父さん！！」と言って、その場に泣き崩れました。  
老人は彼の父親でした。
- 時刻は暗くて、非常に緊張した状況で、少年は老人が自分の父親であることに気づきませんでした。その倒れた老人の元に、他の囚人も駆け泣き崩れました。父親は子どもを愛していたのでした。
- 皆さん。イエス・キリストが十字架にかかれ死なれたのは、私たちのために身代わりとなってくれたのです。十字架は罪人が処刑される、残酷な処刑方法でした。なぜ、イエス・キリストは処刑される必要があったのでしょうか。
- それは天地を造られ聖である神の前に、人は罪を犯しているからです。聖書は「罪の支払う報酬は死である。」と語っています。

天の御国は、罪のない清い人が入る所です。イエス・キリストは私たちを愛してください、身代わりとなってくださいました。罪を犯さなかったイエス・キリストが、十字架の上で死んでくださいました。それは愛です。

- ・イエスをさばいた裁判官ピラトは、こう言いました。マタイ福音書

7:24 ピラトは、語ることが何の役にも立たず、かえって暴動になりそうなを見て、水を取り、群衆の目の前で手を洗って言った。「この人の血について私には責任がない。おまえたちで始末するがよい。」

- ・神は道をまっすぐにされます。そして天の御国に入る道を、イエス・キリストを通して開かれました。これこそ、人が生きる道です。

「あなたの人生、いかがですか？」大丈夫でしょうか。あなたは、どこへ向かっておられるでしょうか。

- ・あなたは今、真の平安、安らぎを得る確かな道を歩いておられるでしょうか。遠回りで危ない人生ではなく、安全な道を歩いているでしょうか。聖書は神の書で、私たちに行く道を先導してくれます。

詩篇 1 1 9 篇の作者はこのように歌いました。

119:105 あなたのみにことばは私の足のともしび私の道の光です。

- ・あなたも創造神に祝福される人生、始められませんか。それにはイエス・キリストに人生をお委ねすることです。

## ま と め

主 題：「あなたの人生 いかがですか」

—大丈夫ですか—

- ・最後に、今日の聖句をお読みしましょう。

3:5 心を尽くして【主】(神)に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

3:6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。  
箴言

\* God bless you !